

【金字塔再び】7年ぶりの再集結！「特報映像の解禁」

映画『やっさだるマン』

各位

平素よりお世話になっております。

来年 2018 年公開の映画『やっさだるマン』について、映画封切に先駆けて“特報映像の公開”です！！

ライトノベル原作の実写映画として金字塔といわれる映画『ライトノベルの楽しい書き方』（2010 公開）のメンバーが待望の再集結！「テニミュ」「男水！」の佐藤永典、Berryz 工房の須藤茉麻、「けいおん！」中野梓の竹達彩奈、そして監督はラノたのと同じく大森研一（「瀬戸内海賊物語」「ポプラの秋」「海すずめ」）。中でも、竹達彩奈は実に 7 年ぶりの実写映画出演となります！
つきましては、本情報にご注目いただき、大森研一監督のコメントとともにご紹介いただけますようお願い申し上げます。



【夢の再集結！】

2010 年公開の映画『ライトノベルの楽しい書き方』 あれから 7 年… 佐藤永典、須藤茉麻、竹達彩奈、そして監督・脚本の大森研一が待望の再集結！ ラノたの当時の初々しかった 3 人はどんな演技を見せてくれるだろう！舞台は広島県三原市。同市公式マスコットキャラクター“やっさだるマン”をめぐる爽やかな大作戦が始動する！

【竹達彩奈、7 年ぶりの実写映画出演！】

さらに竹達彩奈は、実に“ラノたの”以来 7 年ぶりの実写映画出演でもある！ファン必見、彼女の等身大な魅力が詰まった姿をスクリーンで！

【特報 URL】 https://youtu.be/YV4_oJ8KPV4

公開：2018 年ロードショー 公式サイト：http://darumans.com ©2018「やっさだるマン」製作委員会

◆大森研一監督コメント

7 年前。佐藤永典、須藤茉麻、竹達彩奈の三人とともに私自身にとっても商業長編映画デビュー作品が「ライトノベルの楽しい書き方」でした。その思い出深い気持ちのなか、まるで同窓会のごとく「いつか再集結しよう」と話して来た年月が遂にカタチとなりました。脚本も、“三人らしい”キャラクター・ストーリーとして書かせて頂いています。皆それぞれに道を歩み成長した姿を、頼もしく噛みしめながら制作した映画です！まさにこのメンバーでしか実現しえない「超弩級ほんわか映画」が誕生しました！どうぞ公開をお楽しみに！

◆監督プロフィール

大森研一（おおもり・けんいち）／映画監督・脚本家／愛媛県砥部町出身／1975 年生まれ／大阪芸術大学卒

2010 年、映画「ライトノベルの楽しい書き方」で商業映画デビュー、その後も『瀬戸内海賊物語』（'14）、『ポプラの秋』（'15）『海すずめ』（'16）など、コンスタントに映画を制作・公開。オリジナル脚本での作品が多く、人の繋がり・心がほんわかする作品が特徴的で、親しみのあるキャラクターを描き出すそれには定評があり多くの人を魅了してきた。愛媛県砥部焼観光大使、同県伊達なうわじま観光大使、香川大学大学院非常勤講師。映画制作会社ウサギマル代表。

映画『やっさだるマン』【あらすじ】

広島県三原市役所やっさだるマン課。如月肇（佐藤永典）と赤畑里美（須藤茉麻）は、同市の公式マスコットキャラクター“やっさだるマン”の管理運営を担当。今年の「ゆるキャラグランプリ」本選の参加を終え、全国 256 位という結果を引っさげ帰ってきた。順位低迷は例年のことと、さして気にもとめない肇を叱咤する課長（清水美沙）、先輩の向井（宮川一朗太）も呆れ顔。市の行事のたびにやっさだるマンとして出勤し、夜はいきつけのバーで飲んだくれる日々の肇。バーのマスター（目黒祐樹）や家族から漏れる溜息。そんなある日、やっさだるマンの大ファンである磯谷優那（竹達彩奈）が課に配属されてきた。いきなり彼女に一目惚れ!?の肇は俄然やる気満々となり、前向きな優那に課の雰囲気も一変。ついには、やっさだるマンの一大プロジェクトを立ちあげる！しかしその実現へ向けて歩もうとした矢先、肇の前に試練の壁が立ちはだかる。はたしてプロジェクトの行方はどうなる！市民をも巻き込んだ壮大な青春爽やかストーリー！

出演：佐藤永典、須藤茉麻、竹達彩奈、宮川一朗太、清水美沙、目黒祐樹／監督：大森研一／公式サイト：http://darumans.com

2018 年ロードショー

<パブリシティお問い合わせ>
ウサギマル：03-3322-5055（担当：広瀬 090-2727-2270）